

NEWSLETTER No.107 ISSN 1340-5578 **TŌYŌ ONGAKU GAKKAI KAIHŌ**
The Society for Research in Asiatic Music September 21, 2019

一般社団法人 **東洋音楽学会** **会報** 第**107**号

発行 一般社団法人東洋音楽学会
事務所 〒110-0005 東京都台東区上野3-6-3 三春ビル307号 TEL/FAX 03-3832-5152
●E-mail : LEN03210@nifty.com ●ホームページ : http://tog.a.la9.jp

目次

第8回定時社員総会のお知らせ……………1	ICTM(国際伝統音楽学会)に関するお知らせ……………4
総会への出席と「書面議決書」または「委任状」提出のお願い……………1	東日本支部からのお知らせ……………5
第70回大会のご案内……………2	沖縄支部からのお知らせ……………5
第37回田邊尚雄賞アンケートのお願い……………3	会員異動……………5
会員の受賞……………3	図書・資料等の受贈……………6
会費納入のお願いと会費割引制度のお知らせ……………3	新刊書籍……………6
『東洋音楽研究』原稿募集のお知らせ……………4	新発売視聴覚資料……………7
	編集後記……………8

第8回定時社員総会のお知らせ

一般社団法人東洋音楽学会 正会員各位

一般社団法人東洋音楽学会 会長 植村幸生

第8回定時社員総会招集状

一般社団法人東洋音楽学会定款第16条及び第18条の定めに基づき、第8回定時社員総会を下記の通り開催いたしますので、正会員はご出席下さい。

記

日時 2019年11月16日(土)16時30分～17時10分

場所 京都市立芸術大学講堂

審議事項

第1号議案 2018年度事業報告の件

第2号議案 2018年度収支決算の件

第3号議案 2019年8月31日現在貸借対照表および正味財産増減計算書の件

第4号議案 2019年8月31日現在会員異動状況の件

第5号議案 その他

報告事項

- ・2019年度事業計画の件
- ・2019年度収支予算の件
- ・その他

・総会に出席できない正会員の方は、「書面議決書」または「委任状」の提出をお願いします。詳しくは、別項「総会への出席と書面議決書または委任状提出のお願い」をお読みください。

・上記以外の議案を提出なさりたい方は、あらかじめ事務局にご連絡ください。

総会への出席と「書面議決書」または「委任状」提出のお願い

正会員のみならず、総会の成立には正会員の過半数の出席(議決権の行使)が必要です。

総会への出席(議決権の行使)は一般社団法人の正会員の権利であり、責務でもあります。総会にはぜひご出席ください。やむを得ず総会を欠席する場合には、下記のいずれかによって議決権を行使することができます。

①「書面議決書」の提出

書面議決書とは、議案への賛否をあらかじめ表明する文書です。議案書は、10月中旬に学会のホームページに掲載されます。担当理事から、10月中旬に書面議決書を電子メールにて配信しますので、書面議決書によって議決権を行使する場合には、個々の議案への賛否を記入して議案書に記したメールアドレス宛に返信してください。配信先は、学会に届けである(会員名簿に掲載の)アドレスです。変更した方は至急学会事務局まで新しいメールアドレスをお知らせください。インターネットを使わない正会員の方で、書面議決書の提出を希望される方は、学会事務局にご相談ください。

②「委任状」の提出

他の正会員を代理人として議決権の行使を委任することができます。委任する方は、「大会参加申込みハガキ」の委任状の欄を選択の上、代理人の氏名とご自身の氏名を記入し押印してください。代理人は総会に出席する正会員のみが認められます。なお、空欄の場合は、会長に代理人の選任を一任したものと扱います。

総会欠席の場合には「書面議決書」か「委任状」のいずれかを提出ください。総会成立のためにご協力くださるようお願いいたします。

第70回大会のご案内

東洋音楽学会第70回大会を、京都市立芸術大学(〒610-1197京都市西京区大枝沓掛町13-6)にて、同封のプログラムのとおり、開催いたします。多くの会員のご参加をお待ちしております。

第1日目の公開講演会は、「語りの立体化そして復曲—狂言、能、題目立」と題して、12時40分より、講堂にて行います。第2日目は、9時15分より、3つの会場にわかれて、研究発表やシンポジウムを行います。

◎出欠の回答

本学会HP、または同封の返信ハガキにより、出欠の回答をお願いします。事務処理の簡略化のため、なるべくHPからの回答にご協力ください。HPの「大会案内」内の「大会出欠回

答」フォームを利用して、10月19日(土)24時までに入力してください。返信ハガキを利用する場合は、各欄にもれなくご記入の上、10月19日(土)必着でご返送ください。

◎定時社員総会の委任状について

やむなく定時社員総会に欠席し、議決権を委任する正会員は、返信ハガキの表面に記名捺印の上、10月19日(土)必着で、必ずご返送ください。

◎大会参加費、懇親会費、弁当代の納入

本学会HP「大会案内」の「大会出欠回答」フォームからペイパルにて、または、同封の払込用紙、ネットバンキング、銀行振込などで、10月31日(木)までにご入金ください。事務処理の簡略化のため、なるべくペイパル振込にご協力ください。10月31日(木)までにご入金された方については、以下の「事前支払」の金額となります。10月31日(木)以降のお支払の場合には、金額が異なりますので、ご注意ください。

参加費	正会員 事前支払(10月31日まで) : 3,000円 11月1日以降の支払 : 3,500円 正会員のうち大学院生(修士課程、博士課程、研究生在籍者)と学生会員 事前支払(10月31日まで) : 1,500円 11月1日以降の支払 : 2,000円 非会員(第2日目のみ) 資料代 1,000円
懇親会費	正会員 : 4,000円 正会員のうち大学院生(修士課程、博士課程、研究生在籍者)と学生会員 : 2,000円 非会員 : 5,000円
弁当代(第2日目)	: 1,000円

*同封の払込用紙は大会専用です。学会費の納入にはご使用にならないようにお願いいたします。

*期日を過ぎて入金された方は、必ず受領証をご持参いただき、当日受付にてご提示ください。

*大会第2日目のお弁当は、HP「大会案内」中の「大会出欠回答」フォーム、または同封の返信ハガキにてご注文の上、期日(10月31日)までに代金をお支払いいただいた方のみにご用意いたします。期日(10月31日)を過ぎて入金された場合は、ご用意できませんので、あらかじめご了承ください。

*プログラムの再配布はいたしません。当日は同封のプログラムを忘れずにご持参ください。忘れた方で当日必要な場合は500円で販売いたします。

第37回田邊尚雄賞アンケートのお願い

第37回田邊尚雄賞選考委員会では、新刊情報を広く収集しています。会員の業績を顕彰する貴重な機会ですので、著作物を出版される際は、選考委員会までお早めにお知らせください。自薦のほか他薦も歓迎いたします。

選考対象：2019年1月1日～12月31日の発行物

受付期間：随時。締切は2020年2月上旬(予定)。

記入事項：著者名、書名、発行年月日、発行所名。

なお、論文の場合は、掲載誌名、巻次、編集者名、論文頁数も記してください。推薦理由を簡潔にお書き添えいただいても構いません。

送付先：東洋音楽学会 第37回田邊尚雄賞選考委員会

(郵送)〒110-0005 東京都台東区上野 3-6-3

三春ビル 307号

(FAX) 03-3832-5152

(電子メール) LEN03210@nifty.com

選考委員：近藤静乃、配川美加、前原恵美、小西潤子、
伏木香織

正会員：8000円

学生会員(大学院生を除く)、および割引申請者：6000円

○郵便局からの払込

ゆうちょ銀行 [口座番号] 00160-6-55723

[加入者名] 一般社団法人東洋音楽学会

○他金融機関からの振込

ゆうちょ銀行 [支店名] 〇一九(ゼロイチキュー)店 (019)

[当座] 0055723

○オンライン決済サービスによる納入

ペイパル(PayPal)によるオンライン決済で会費が納入できるようになりました。学会ウェブサイトのトップページ(<http://tog.a.la9.jp/>)の「入会方法ははこちら」をクリックし、「入会方法」のセクションをご覧くださいと納入ボタンがあります。オンライン決済にはペイパルへのログインが必要です。ペイパル・アカウントをお持ちでない方は、アカウントを開くと送金できます(アカウント開設費無料)。なお、オンライン決済には手数料が発生するため、納入金額は以下ようになります。

正会員：8350円

学生会員(大学院生を除く)、および割引申請者：6280円

会員の受賞

◇高橋美樹さんが沖縄文化協会賞・仲原善忠賞を受賞

本学会会員の高橋美樹さんが、琉球音楽の民族音楽学的研究に対して、第40回沖縄文化協会賞 仲原善忠賞を受賞されました。授賞式は、2018年11月17日に、沖縄国際大学において行われました。

★この受賞のお知らせは、本来は、2019年5月発行の『会報』106号に掲載する予定のものでした。会報編集委員会の手違いにより、お知らせが遅れ、107号の掲載になってしまいましたことを、お詫び申し上げます。

会費納入のお願いと会費割引制度のお知らせ

1. 会費納入のお願い

2019年9月から新しい年度(2019年度)が始まりました。会費未納の方は、金額をお確かめの上お払込ください。ようお願い申し上げます。振込用紙を紛失された場合は、下記学会口座宛にお振込ください。

2. 会費割引制度のお知らせ

本学会には、夫婦・親子割引、大学院生(博士課程・修士課程)・研究生割引の制度があります。それぞれ条件や申込方法が異なります。学会のホームページ(<http://tog.a.la9.jp/about.html#7>)でご確認の上、お申し込みください。なお、大学院生の割引制度を受けるためには「大学院生会費減額措置願い」と学生証のコピーを、また研究生の割引制度を受けるためには、「研究生会費減額措置願い」と学生証のコピー、履歴書が必要です。次年度以降も継続して減額措置を希望する場合は、毎年、前年度末すなわち8月31日までに、「減額措置願い」を提出する必要があります。

3. 会費の滞納者へのご注意

滞納がありますと、会員の権利(研究会・大会での発表、学会の発行物の受取)が行使できないことがありますのでご注意ください。

4. 卒論・修論の発表者へのご注意

発表を機に入会された会員にも、新年度の会費納入義務が発生いたします。退会するためには退会届が必要です。その旨ご了解のうえ、会費の納入にご協力ください。

『東洋音楽研究』原稿募集のお知らせ

学会機関誌『東洋音楽研究』第85号(2020年8月刊行予定)の原稿を募集いたします。

投稿を希望される方は、学会機関誌最新号に掲載予定の「投稿規定」および学会ホームページ掲載の「投稿の手引き」をよくお読みの上、ご投稿ください。「投稿規定」は、機関誌編集委員会において改訂を行うことがあります。必ず最新号でご確認ください(学会ホームページで閲覧する場合、最新のものをご取得するために、ページの再読み込みを必ず行ってください)。分量の限度が守られていない投稿がしばしば見受けられます。ご注意ください。

送付先：〒110-0005 東京都台東区上野3-6-3

三春ビル307号

一般社団法人 東洋音楽学会 事務局内

東洋音楽学会機関誌編集委員会

なお、封筒の表に「機関誌投稿原稿在中」と明記してください。

送付方法：プリントアウトした原稿を郵送してください。

ただし、書留郵便にはしないでください。直接持参、メール添付は受け付けておりません。

締め切り：2019年12月9日(月)必着

ICTM (国際伝統音楽学会) に関するお知らせ

1. 第45回 ICTM 世界大会 (於：タイ、バンコク) の報告

去る2019年7月11日～17日、タイのチュラロンコン大学にて、第45回ICTM世界大会が行われました。本大会は、東南アジアで行われた最初のICTM世界大会であり、かつ過去最高の参加者数を記録した記念すべき大会となりました。本部の発表によると、76の国から総勢908名が参加しました。東洋音楽学会員の参加も目立ち、報告者が確認できただけでも優に20名を越え、過去最高だったのではないかと思います。

本大会ではネームタグにQRコードがつけられ、コーヒープレイク・チケットやエクスカージョンの登録が管理されるなどハイテク化が感じられた一方、昼食は屋外に並んだ数々の出店から自由に手軽なローカルフードを楽しむ形式になっているなど、リラックスした雰囲気もほどよく溶け込んでいました。大会の様子は“The 45th International Council f

or Traditional Music World Conference”のタイトルでYouTubeにアップロードされています(<https://www.youtube.com/watch?v=CZ1yshrIdmw>)。本大会のテーマの一つとして“Transborder Flows and Movements”が掲げられていたこともあり、越境する音楽文化・舞踊に関する発表が目立つ大会だったように思います。

7月13日に行われた総会では、以下のような報告がありました。

1) 会員数について

ICTMの会員数は年々増加傾向にあり、2015年には1200名ほどだった会員数が、2019年には約1450名にまで膨らみました。

2) 役員選挙の結果

今回の選挙の結果、(以下敬称略) Don Niles (パプアニューギニア) が副会長に就任し、新理事には Brian Diettrich (ニュージーランド)、Marcia Ostashewski (カナダ)、及び Louise Wrazen (カナダ) が就任しました。なお、現在任期にあるその他の役員は、会長の Salwa El-Shawan Castelo-Branco (ポルトガル)、副会長の Svanibor Pettan (スロヴェニア)、理事の Naila Ceribašić (クロアチア)、Catherine Foley (アイルランド)、Lee Tong Soon (シンガポール/USA)、Marie Agatha Ozah (ナイジェリア)、Tan Sooi Beng (マレーシア)、及び J. Lawrence Witzleben (アメリカ) です。当学会員の寺田吉孝氏は今大会をもって任期終了されました。今回の選挙ではソフトウェアを利用したオンライン投票が導入され、過去最高の投票率を記録しました。

3) 学生部 (ICTM Student Organization) からの提案

学生有志の呼びかけにより、2017年の世界大会後に立ち上げられた学生部からは、理事会に学生部代表を送り、相互のコミュニケーションを円滑にする提案が出され、会長からは積極的に検討したいとの返答がありました。

2. 第46回 ICTM 世界大会のお知らせ

日時：2021年7月22日～28日

場所：School of Social Sciences and Humanities,
the New University of Lisbon
(ポルトガル、リスボン)

3. ICTM 担当委員 (minako.waseda@gmail.com) からのお願い

1) 一斉メールについて

東洋音楽学会員の皆様のうちICTM会員に対して、担当委員より不定期にICTMに関するお知らせを一斉送信して

います。現在までに一斉メールを受信されていない方、また現在 ICTM 会員でない方で、今後 ICTM に関するメール連絡を希望される場合は、担当委員までお知らせください。

2) ICTM 関連の情報提供について

ICTM 内の研究会に所属している会員の方からの情報を募集します。お寄せいただいた情報を東洋音楽学会員に会報を通じて発信します。ご協力よろしくお願いたします。

3) ICTM 会報 (Bulletin) 掲載記事について

東洋音楽学会は、ICTM の日本国内委員会として機能しています。国内委員会からの報告を ICTM 会報に掲載することができます。ICTM 会員の皆様から、ICTM 会報に掲載を希望する報告事項(ご自身の出版物や日本で開催された国際会議の報告、日本における国際学会のお知らせなど)がありましたら、担当委員までお知らせください。

(ICTM 担当委員)

東日本支部からのお知らせ

◇定例研究会発表募集(2月例会)について

東日本支部では、2020年2月1日の定例研究会での研究発表を募集しています。

発表をご希望の方は、発表種別(研究発表・報告等)、発表題目、要旨(800字以内)、発表希望月、氏名、所属機関、連絡先(住所、電話、Fax、E-mail)を明記の上、11月19日までに、東日本支部事務局あて、お申し込みください。

なお、発表希望をご提出後1週間経過しても事務局からの連絡がない場合には、メール事故等の可能性がありますので、お手数ですが、再度ご連絡ください。

◇会員の声 投稿募集

東日本支部発行『東日本支部だより』には、会員の皆様からの情報を掲載する「会員の声」欄を設けています。研究会、講演会、展示会など、会員の活動に関連する情報がありましたら、東日本支部事務局あて、お知らせください。投稿方法などの詳細は、『東日本支部だより』の最終ページをご覧ください。

[東日本支部事務局]

〒110-0005 台東区上野3-6-3 三春ビル307号

東洋音楽学会東日本支部事務局

E-mail : tog.higashi@gmail.com

沖縄支部からのお知らせ

◇定例研究会について

これからの開催については、

第73回定例研究会 2020年2月

第74回定例研究会 2020年6月

を予定しています。発表希望者を随時受け付けております。

また、他支部会員の発表も歓迎致します。発表を希望される場合には、開催予定の4か月前までをめぐり、下記の沖縄支部事務局までご連絡ください。

沖縄支部事務局:

〒903-8602 沖縄県那覇市首里当蔵町1-4

沖縄県立芸術大学音楽学部

東洋音楽学会沖縄支部長 小西潤子 宛

電話・FAX: 098-882-5016

電子メール: konisij@okigei.ac.jp (小西潤子)

定例研究会の詳しい内容は、決まり次第、学会ホームページに掲載します。また、学会員以外の方々も聴講可能ですので、奮ってご参加ください。

『沖縄支部通信 No.40』では、第72回定例研究会のご報告を掲載しています。沖縄支部ホームページよりダウンロードできますので、ぜひご覧ください。

会員異動

個人情報のため削除

個人情報のため削除

『ヴォルフ=フェラーリ オペラの世界——オペラ作品分析』
岡元敦司、中西出版、3,240円

『「うたごえ喫茶ともしび」の歴史——歌いつづけた65年間(上)』
大野幸則、唯学書房、1,944円

『「うたごえ喫茶ともしび」の歴史——歌いつづけた65年間(下)』
大野幸則、唯学書房、1,944円

『うたの不思議——『白いうた 青いうた』の秘密』
新実徳英、音楽之友社、3,240円

『越境する音楽家たちの対話』関口義人、彩流社、2,700円

『越中おわら風の盆の空間誌——〈うたの町〉からみた近代』
長尾洋子、ミネルヴァ書房、5,940円

『江戸歌舞伎長唄成立史』漆崎まり(著)原道生(監修)、
八木書店古書出版部、16,200円

『江島辨財天信仰史 復刊』是澤恭三、江島神社社務所、不明

『欧文日本学・琉球学総論』
山口栄鉄、芙蓉書房出版、3,024円

『オルガンの芸術 歴史・楽器・奏法』
松居直美、廣野嗣雄、馬淵久夫、道和書院、3,888円

『音楽と絵画〈上〉バロック、古典派からロマン派まで』
倉林靖、芸術現代社、1,944円

『音楽と絵画〈下〉マーラーとクリムト、民族楽派から20世紀まで』
倉林靖、芸術現代社、2,160円

『音楽と出会う——21世紀的つきあい方』
岡田暁生、世界思想社、1,836円

『科学技術と知の精神文化VIII——ヒトと科学』
科学技術振興機構 社会技術研究開発センター(編集)、
徳丸吉彦・他、丸善プラネット、1,620円

『革命と戦争のクラシック音楽史』
片山杜秀、NHK出版、918円

『鐘の本 ヨーロッパの音と祈りの民族誌』
バウル・ザルトーリ、八坂書房、3,456円

『歌舞伎さんぽ』
小田豊二、柏書房、2,160円

『歌舞伎十八番集』
河竹繁俊、児玉竜一、講談社学術文庫、1,933円

『歌舞伎名演目——舞踊』
松竹株式会社(監修)、美術出版社、3,672円

『紀伊の霊場と近世社会』佐藤頭、清文堂出版、8,856円

『狂言を生きる』野村万作、朝日出版社、5,400円

『文化のなかの野性 芸術人類学講義(新装版)』
中島智、現代思潮新社、3,780円

『近世日本と楽の諸相(日本伝統音楽研究センター研究報告12)』
武内恵美子(編)、明木茂夫・遠藤敬・榎木亨・平間亮子・南谷美保・
山田淳平・山寺美紀子・他(著)、日本伝統音楽研究センター、2,000円

『国指定重要無形民俗文化財——見付天神裸祭』
見付天神裸祭保存会、静岡新聞社、1,620円

図書・資料等の受贈

(2019年5月~8月、到着順)

『演劇映像』第60号 早稲田大学演劇映像学会

『楽道』5,6,7,8月号 (公財)正派邦楽会

『民俗芸能研究』第66号 民俗芸能学会

『常磐津節演奏者の経歴に関する調査報告書 2018年度「常磐津節演奏者名鑑 第8巻」(近代6:明治期から昭和期まで(続)、補遺)』
竹内有一編著 常磐津節保存会

『日本の音楽図書館 音楽図書館協議会40年のあゆみ』
音楽図書館協議会40年史編集委員会編著
音楽図書館協議会(販売:大空社出版)

『雅楽だより』第58号 雅楽協議会

『東方學會報』No.116 (一財)東方学会

『楽器コレクション管理資料集2 活動報告編』2018年度版
国立音楽大学楽器学資料館

新刊書籍

(ゴシック体の項目は賛助会員による刊行物)、価格(税込)

『アイヌの世界観——「ことば」から読む自然と宇宙』
山田孝子、講談社、1,328円

『組踊の世界』 勝連繁雄、ゆい出版、2,160円
 『クラシックのからくり——「かたち」で読み解く楽曲の仕組み』
 舟橋三十子、ヤマハミュージックメディア、1,836円
 『クラシック平成ディスク史——日本から見たクラシック音楽情勢』 レコード芸術(編)、音楽之友社、1,404円
 『権力と音楽 アメリカ占領軍政府とドイツ音楽の「復興」』
 芝崎祐典、吉田書店、3,024円
 『「国民歌」を唱和した時代: 昭和の大衆歌謡』
 戸ノ下達也、吉川弘文館、6,830円
 『古代寺院の芸術世界』 肥田路美(編)、竹林舎、15,120円
 『コミックソングがJ-POPを作った——軽薄の音楽史』
 矢野利裕、Pヴァイン、2,268円
 『コモンズとしての都市祭礼——長浜曳山祭の都市社会学』
 武田俊輔、新曜社、4,968円
 『山陰の暮らし・信仰・芸能』
 山陰民俗学会、ハーベスト出版、1,728円
 『茂山逸平 風姿和伝』 中村純、春陽堂書店、2,160円
 『冗談音楽の怪人・三木鶏郎——ラジオとCMソングの戦後史』
 泉麻人、新潮社、1,620円
 『人工知能が音楽を創る——創造性のコンピュータモデル』
 デイヴィッド・コープ、音楽之友社、4,536円
 『新才能「沖宮」』
 石牟礼道子、志村ふくみ、求龍堂、4,860円
 『神霊矢口渡(国立劇場上演資料集〈640〉)』
 国立劇場調査記録課(編)、日本芸術文化振興会、750円
 『図解 世界楽器大事典(第六版)』
 黒沢隆朝、雄山閣、6,480円
 『菅原伝授手習鑑一車引一、棒しばり(国立劇場上演資料集〈641〉)』
 国立劇場調査記録課(編)、日本芸術文化振興会、950円
 『戦後ドイツに響くユダヤの歌——イディッシュ民謡復興』
 阪井葉子(著)、三谷研爾(編)、青弓社、2,808円
 『千夜千冊エディション 芸と道』
 松岡正剛、角川ソフィア文庫、1,382円
 『徂徠学の思想圏』 中村春作、ペリかん社、3,888円
 『ダンスの時代』 若林実、リットーミュージック、1,944円
 『近松浄瑠璃の成立』
 大橋正叔、八木書店古書出版部、11,880円
 『中世日本を生きる: 遍歴漂浪の人びと』
 新井孝重、吉川弘文館、2,592円
 『東海道・中山道——旅と暮らし』
 新田時也、志田威、中澤麻衣、静岡新聞社、1,728円
 『通し狂言 妹背山婦女庭訓(国立劇場上演資料集〈639〉)』
 国立劇場調査記録課(編)、日本芸術文化振興会、1,100円
 『長唄 外記節 石橋』 四世杵家彌七、杵家彌七出版、864円

『なんてたって邦楽——おもしろ日本音楽』
 釣谷真弓、東京堂出版、3,024円
 『日本ネシア論』 長嶋俊介(編)、藤原書店、4,536円
 『日本の伝統楽器——知られざるルーツとその魅力』
 若林忠宏、ミネルヴェ書房、2,700円
 『日本の伝説山陽・山陰』 藤沢衛彦、河出書房新社、2,268円
 『日本の民俗信仰を知るための30章』
 八木透、淡交社、1,944円
 『東アジア古典演劇の伝統と近代』
 毛利三彌・天野文雄(編集)、勉誠出版、3,024円
 『筆筆でポップス——曲集編』
 渡部聡、ケイ・エム・ピー、2,160円
 『吹いてみたい筆筆』 石黒賢、里文出版、1,944円
 『笛舎閑話』 中谷明、檜書店、1,728円
 『フレーズで覚える三味線入門』
 小塩さとみ、音楽之友社、2,592円
 『文楽芸談——三味線 竹澤團七 橋寿のつぶやき』
 荒木雪破、竹澤團七、東方出版、1,944円
 『平成音楽史』 片山杜秀、山崎浩太郎、田中美登里、
 アルテスパブリッシング、1,944円
 『平成日本の音楽の教科書』 大谷能生、新曜社、1,728円
 『平和と音』 日本平和学会(編)、早稲田大学出版部、2,376円
 『明治・大正 東京の歌舞伎興行——その「継続」の軌跡』
 寺田詩麻、春風社、8,640円
 『もう少し浄瑠璃を読もう』 橋本治、新潮社、1,944円
 『やさしい大正琴講座』 泉田由美子、自由現代社、1,944円
 『唯生論 シベリア抑留の恩讐を乗り越えた音楽人生』
 田中唯介、ペンコム、1,080円
 『夢見鳥』 中村吉右衛門、日本経済新聞出版社、2,484円
 『ライブカルチャーの教科書——音楽から読み解く現代社会』
 宮入恭平、青弓社、2,160円
 『ラストダンスは私に 岩谷時子物語』
 村岡恵理、光文社、2,376円

新発売視聴覚資料

(ゴシック体の項目は賛助会員による刊行物)

●CD

『安藤政輝 宮城道雄を弾く7——春を謳う』
 安藤政輝、VZCG-821、3,240円
 『ヴィーヴォ・マンドリーノ』
 明治大学マンドリン倶楽部、COCW-40807/8、3,500円
 『女性のための琉球古典音楽(入門編)』
 小西睦子、KOKU3-0253、2,160円

『すみだ半被イ音頭——哀愁とやま』

京極加津恵、COCA-17639、1,296円

『精神科医・音楽療法士が奏でる おだやかな眠りをいざなう

ピアノ・サブリ』 馬場存、KICS-3801、1,944円

『テクノデリック』 YELLOW MAGIC ORCHESTRA、

MHCL-10113、3,240円

『日本の盆踊り集<総振付>』 V.A.、COCJ-40877、1,944円

『ハワイアン・リラクシング・ミュージック 風と波、海辺の

散歩』 山口岩男、KICS-3804、1,944円

『ヒチリキ・ラブソディ』 東儀秀樹、UCCY-1100、3,240円

『八重山古典民謡——仲宗根充独演集』

仲宗根充、KOKU3-0258/9、4,104円

『BGM』 YELLOW MAGIC ORCHESTRA、

MHCL-10112、3,240円

編集後記

会報107号をお届けいたします。9月号は、例年、大会のご案内と定時社員総会関連のお知らせが中心です。今年の大会は、紅葉シーズンの京都での開催です。会報誌面および同封しております大会プログラムをご覧ください、どうぞ、ふるってご参加ください。また、定時社員総会は、学会活動を支える重要事項を決定する大切な機会です。やむを得ずご欠席の正会員の皆様には、「書面議決書」または「委任状」の提出に関するお願いをご案内しています。ご一読いただき、総会成立のために、ご協力をお願いいたします。

今号は、新しい会報編集委員会にとって、2号目の編集となりました。試行錯誤を繰り返しながら、編集に取り組んでいます。会報へのご意見ご要望など、どうぞ、お寄せくださいませ。

野川美穂子

会報編集委員会

理事：久万田晋、野川美穂子

参事：木岡史明、土田まどか、中川優子、安原道子、横山洸